

# ごみ収集費の負担を

高崎市では可燃ごみの収集日は週2回となっており、収集日の朝は至る所に「ごみの山」があり、特に収集日が祝日となった次の収集日の「ごみ」は恐ろしいほどの量である。

歴史的に見て今日のような収集を始めたのは1965年以降であり、それ以前は何らかの方法で各家庭で処分していた。もちろん「ごみの量も種類も少なく、有害なものもほとんどなかった」といふことが、今日では「ごみ問題、地球温暖化等に象徴されるように生活者自身の私たちが加害者」になっている。

高崎市の総ごみ排出量の推移は75年5・2万トが20年後の95年には10・6万ト

# 私たちの環境は

## アドバイザーからの提言



■6■

高崎市では可燃ごみの収集日は週2回となっており、収集日の朝は至る所に「ごみの山」があり、特に収集日が祝日となった次の収集日の「ごみ」は恐ろしいほどの量である。

歴史的に見て今日のような収集を始めたのは1965年以降であり、それ以前は何らかの方法で各家庭で処分していた。もちろん「ごみの量も種類も少なく、有害なものもほとんどなかった」といふことが、今日では「ごみ問題、地球温暖化等に象徴されるように生活者自身の私たちが加害者」になっている。

「たかなし・よしひか」山形県米沢市生まれ。環境アドバイザー連絡協議会副代表、同西部ブロック代表、グリーンコンシューマー群馬ネット幹事。高崎市浜尻町。64歳。

「たかなし・よしひか」山形県米沢市生まれ。環境アドバイザー連絡協議会副代表、同西部ブロック代表、グリーンコンシューマー群馬ネット幹事。高崎市浜尻町。64歳。

# 生活者自身が加害者

## ライフスタイル変化で

「加害者、住民」被害者」といふ図式であったが、今日では「ごみ問題、地球温暖化等に象徴されるように生活者自身の私たちが加害者」になっている。

高崎市の総ごみ排出量の推移は75年5・2万トが20年後の95年には10・6万ト

「流れに任せてやっていく。それも大切だと震災から学んだ」と語る飛田雄一さん。神戸市灘区の神戸学生青年センター



消火作業のためバケツを互いに勇気づけた=1987年、神戸市灘区

「確かに行政には硬直した面がある。被災直後は市民たちが自主的に動いていなく、ユースホステルであったのに、避難所を行政マンが仕切り始めてから雰囲気が悪くなった」という話もよく活動内容が多様化した。

# 活動内容が多様化

神戸学生青年センターは、きめ細かなコミュニケーションが、留学生支援専門では、ヨシ構築の努力が、可能性を押し広げているようだ。

震災時の募金は、留学生らへの支給完了時点で約1300万円残った。これを「も」とに基金を創設。震災翌年から毎年、留学生・就学生5人に奨学金計300万円を支給し続けている。6年前の一次的な成果を、恒常化してゆく狙いだ。

少しでも長く継続するために、新たな募金活動も。だが震災時ほど注目されず、その順調ではない。大学4年生らから不要になった「会社案内」を譲り受け、1冊25円で書店に引き取っ



## ごみ収集の現場

【電気・機械器具】▽ハンダ付け(手内職) 工賃は品物に応じて、前橋六供・文京周辺▽ハンダ付け・基板差し(手内職・本人持ち運び) 工賃は品物に応じて、前橋駒形・下増田、伊勢崎宮子町周辺▽ハンダ付け・テープ張り(手内職) 工賃は品物に応じて、大胡、粕川、富士見▽パンコ台止り止めまたは部品組み立て(手内職・本人持ち運び) 工賃は品物に応じて、前橋元総社周辺または西片貝周辺▽巻線(手内職) 工賃は品物に応じて、高崎我峰、沖町周辺、箕郷、榛名町の一部▽電子部品組み立て・切断(専用機材貸与・本人持ち運び) 1本30善、力丸周辺▽



銭、高崎ハントの組み立て(手内職) 工賃は品物に応じて、前橋駒形・下増田、伊勢崎宮子町周辺▽ハンダ付け(手内職) 工賃は品物に応じて、前橋駒形・下増田、伊勢崎宮子町周辺▽ハンダ付け・テープ張り(手内職) 工賃は品物に応じて、大胡、粕川、富士見▽パンコ台止り止めまたは部品組み立て(手内職・本人持ち運び) 工賃は品物に応じて、前橋元総社周辺または西片貝周辺▽巻線(手内職) 工賃は品物に応じて、高崎我峰、沖町周辺、箕郷、榛名町の一部▽電子部品組み立て・切断(専用機材貸与・本人持ち運び) 1本30善、力丸周辺▽